



# IW-TDGM 2007

INTERNATIONAL WORKSHOP ON SCRAP TIRE DERIVED GEOMATERIALS  
- OPPORTUNITIES AND CHALLENGES -

「廃タイヤを用いた新しい地盤材料－課題と挑戦－」に関する国際ワークショップ

場所：(独)港湾空港技術研究所(横須賀市長瀬3-1-1)

期日：2007年3月23日(金)～24日(土)

使用済みタイヤを用いた新しい地盤材料は、他産業からのリサイクル材料として、さらに従来の地盤材料にない力学的特性から、近年広く注目され、その有用性が認められ始めています。特に欧米諸国では、この10年間における使用済みタイヤの土木・地盤材料としてのマテリアル・リサイクルは顕著な伸びを示しており、道路工事、埋立工事、港湾工事、などに利用されるなど、新地盤材料の潜在用途は多岐に渡ります。

使用済みタイヤを原料とする地盤材料は、軽量性、弾力性、圧縮性、防振性、断熱性および耐久性に富んでいることから、これまでにない新しい土木・地盤材料として、その多様性と将来的な技術発展が期待されています。このような新しい技術の発展を推進するためには、世界中の土木工学、材料工学、地盤工学、耐震工学、環境工学や化学工学、生物学など様々な分野の専門家や研究者が一堂に会し、相互に知識と経験を共有し、意見交換をすることが必要です。

このような背景から、この国際ワークショップが世界に先駆けて日本で開催されます。今回の国際ワークショップでは投稿論文や国内外から招聘した各分野の専門家による基調講演、パネルディスカッション(ワークショップの目玉になるでしょう)を通して、有意な情報の交換やまた意義深い議論を交わされることが期待されています。そしてこれらの成果は、地盤工学の新たな進展だけでなく持続可能な地球環境の創造の観点からも、確実に寄与することでしょう。

## 論文募集項目

- (1) 使用済みタイヤ原型のままの利用
- (2) タイヤシュレッズおよびタイヤチップとしての利用
- (3) タイヤチップ混合固化処理土
- (4) その他の材料とタイヤチップとの混合材料
- (5) 材料特性とモデリング
- (6) 環境への影響と評価
- (7) ライフサイクルコスト(LCC :Life Cycle Cost)と  
ライフサイクルアセスメント(LCA :Life Cycle Assessment)
- (8) ケーススタディーと現場適用事例
- (9) 設計手法
- (10) その他の新しい概念や応用

内容 各分野の専門家による基調講演、口頭発表、ポスター発表、パネルディスカッションを予定。

登録費(現金のみ当日納入)

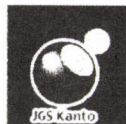
- ・ ISSMGE, IGS, JGS 会員 (25,000 円)
- ・ 非会員 (30,000 円)
- ・ 学生 (10,000 円)

## 主要日程

投稿受付開始：2006年10月下旬  
 概要提出締切：2006年11月30日  
 論文投稿締切：2007年1月19日  
 最終論文締切：2007年2月16日  
 印刷：2007年3月上旬

## 主催

(独)港湾空港技術研究所  
 (社)地盤工学会関東支部



## 協賛



## 協力

(株)ブリヂストン

NPO法人 リサイクルソリューション

## 問合せ先

ハザリカ ヘマンタ

(独)港湾空港技術研究所 地盤・構造部 構造振動研究室

239-0826 横須賀市長瀬3-1-1 Tel: 046-844-5058 Fax: 046-844-0839

Email: hazarika@pari.go.jp